

千里ニュータウンまちびらき 50 年事業実行委員会
第 13 回連絡会議 議事録

日 時：平成 24 年 7 月 28 日（土）10 時～

場 所：50 年事業事務所

参加者：内田、大津、岡村、奥居、片岡、高向、谷川、福原、藤本

【千里ニュータウン再生連絡協議会】門脇、杉本、有井、奥山、早川

事務局報告

チラシ

（報告）

8 月 3 日までに印刷し、各地域の夏祭りで配布してもらうよう依頼した。

3 万部を印刷する予定である。

（意見）

シンボルマークを表面に押し出すより、事業内容を押し出したほうがいいのではないか。

今回は、シンボルマーク決定をメインに他の情報を掲載する方針としている。

表面は、アイキャッチとして機能するのではないか。

夏祭りで配っても、裏面まで見てくれるのか。

千里ニュータウンの景色を何回も出さなくてもいいのではないか。

（まとめ）

印刷スケジュールから大きな変更はできないため、今回は文言の修正だけに留める。

広報部会で作成したものは別に作成する各部会のチラシについては、広報部会へ連絡し、共有できるデータがあればネット上で互いに提供しあうようにする。

看板・のぼり

（報告）

看板は、1500×400（たて×よこ）に木の脚付きのものを 6 枚作成、のぼり（ポール付）は 50 本用意する予定。

吹田市広報番組

吹田市広報番組（9 月 15 日前後 2 回）の前半で、千里ニュータウンに住んでいる方にインタビューをしたいと考えている。タイムスリップ展語り部イベントに出演される方も考えられるが、他に適任の方がいらっしゃれば教えていただきたい。

（意見）

前半で語り部出演者へインタビューされては、語り部イベントの面白みが薄まる。

前半は、映画の予告編のような形として、語り部イベントに誘導できるものにできないか。

できなければ、インタビューは断る。
後半は、千里 50 年まつりの予告編になればいい。

協賛金・協力

(報告)

事業資金の合計額が 1700 万円程度となる。

(意見)

個人協賛については P R 効果を見込んで引き続き実施するべき。

ワンコイン募金は、特に宣伝効果が期待でき、その際にチラシも渡せばいい。

協賛金の使途は、公開することとする。

報告書

(報告)

千里ニュータウン再生連絡協議会としては、報告書を作成してもらいたい。

冊子のほかに映像 (DVD) での報告でも可能。

(意見)

冊子と DVD を両方作成すると費用がかさむ。どちらか一方を選ぶか、一方を薄くしてもう一方を厚くする方法がある。

DVD に付帯するリーフレットのようなセットものにしてはどうか。

各部会の会議などの活動を記載していきたい。

HP で掲載する方法もある。

HP、ブログ、各部会の議事録などをまとめたものではどうか。

(まとめ)

広報部会で検討することとなった。

各部会の記録は可能な限り残していく。

各部会報告

タイムスリップ展・千里をまるごと楽しもう部会

オープニングセレモニー

(報告)

オープニングセレモニーの招待文書を作成した。

シンボルマーク原作者の都合が悪く表彰式ができないので、記念式典はあいさつのみとなる。

60年代名盤レコードコンサートを追加することを考えている。

語り部出演者候補者は、9月14日入居の団地の管理人の方、9月15日から商店を開店した方など。

語り部イベントは、出演者にインタビューする形で進める予定。

(意見)

250人収容だが、大勢招待してしまうと一般の人が入れなくなってしまうのではないかと。招待文書にある来賓を招待しても、実際に出席していただけるのは20～30人ではないかと。受付・リボンなども必要ではないかと。

名盤コンサート+合唱では長くないかと、記念式典と語り部イベントの間に名盤コンサートを入れてはどうか。

(まとめ)

招待者はタイムスリップ部会で選定する。

千里ニュータウンまちびらき50年のオープニングであるように文言を修正する。

記念式典の来場者を引き続き語り部イベントへ参加させたいので、両プログラムは続けて実施する。

サテライト展示

(報告)

オープニングセレモニー招待文書には、実施日は書かず期間のみ記載した。

実施日は、老人会の方に4人/日ずつ担当してもらおう予定で進めている。

案内の看板を作成し、会場まで誘導する。

電気・水道は開栓済み。

まちあるき

(報告)

10月までは今までと大きく変わらないが、11月のウォーキング大会は大規模なものとなる。受付・スタート会場を、千里南公園を予定している。

11月ウォーキング大会には、かなりのマンパワーが必要(コースから外れる人が発生する可能性)。

コースは、南千里から出発し千里ニュータウンを反時計回りで回ることとなる。

各ポイントでの所要時間は1時間程度となる。

立て看板も作成する必要がある。

チラシは部会で1万枚作成する。

大阪府ウォーキング協会に参加者の募集を依頼している。

ウォーキングの先導員は大阪府ウォーキング協会から派遣してもらうこととなった。

20km、10km、5 kmのコースを設定し、10km コースはゴールを北千里にし、他のコースは南千里をゴールとする。

9：30 頃スタートし、16：30 までゴール受付を行う。標準ゴール時間は、15：30 頃を想定している。

同日に光の道フェスタが行われるが、開始時間が日没後とのことなので、時間は重複しない。

(意見)

光の道フェスタへスムーズに誘導できるよう各時間を検討する。

看板は、タイムスリップ展サテライトの看板と一緒に発注できればいいのではないか。

光の道フェスタと同日開催なので、スタッフなど融通できるものはしていければいい。

情報館展示

(報告)

展示計画のあらましは出来上がった。

ジオラマなど千里センターの資料を活かしていくが、パネルなどは、基本的には発注していく。

展示の中で、住んでいる人の生き活きとした顔写真が必要なため、語り部イベント出演者を撮影させてもらうことを考えている。

フェスティバル部会

千里 50 年まつり

ステージ

(報告)

現時点で出演決定している団体のみ、作成したスケジュールへ記載している。

公募グループは、正式には 6 グループの応募があった。公募期間は 7 月末日まで。

メインイベントは、主催者イベント（ファッションショー、初音ミクイベントなど）。

最終調整は今後行う。

2 日目は本物の結婚式を実施する。

ブース出展

(報告)

パル広場でブース出展を計画している。公募期間は 8 月 15 日まで。

各ブースの進捗状況は以下の通り。

ふるさと交流ブース：正式申込は 7 県。他に 7～8 県と話をしている。予定数の応募が見込める。

国際交流ブース：正式申込は3グループ。他にも声かけしているので、予定の10ブースを見込める。

体験ブース：2～3グループの応募しかないので、今後重点を置く。

学び舎ブース：1～2グループの応募のみなので、今後重点を置く。

50円縁日ブース：新千里北町、新千里東町、新千里西町の自治会へ依頼している。新千里東町が積極的な返答をもらえている。10ブースを予定しているが、出展者が少なければ、吹田市域の自治会へも依頼する。

協賛金ブース：最大20ブースまで用意できる。

市民フォーラム・光の道フェスタ部会

光の道フェスタ

(報告)

11月10日(土)に千里南公園でのみ実施する。(11月11日(日)は予備日。)

竹の会へ協力依頼をしたい。9万個のろうそくを並べるための竹など。

ろうそくを入れる竹やペットボトルは、様々な団体・家庭に依頼して、作成できればと考えている。当日、会場へ来られた方にも作成してもらいたい。

両市広報誌10月号に掲載される予定。

チラシには「11月10日(土)(予備日11月11日(日))」と記載する。

(意見)

上から写真撮影できればきれいではないか。

樹木があり真上からの撮影でなければ難しいのではないか。

子どもフォーラム

(報告)

11月25日(日)に読売文化ホールで実施する。学生数名で子どもフォーラム運営委員会を立ち上げた。夏休みを通じてさらに募集していく。

子どもフォーラムに先駆けて発表内容を決めるワークショップを、11月3日・4日の2日間、豊中市コラボで実施する。

子どもフォーラム発表者の対象は、小学5～6年生をメインに考えている。

佐竹台小学校・高野台小学校からの発表者は、各学校での50年の取組み発表を考えている。

市民フォーラム

(報告)

出演者は、子育て中の方、外国人などを募集する。

阪大には、留学生へ声かけしてもらっている。適任の方がいるとの返事もいただいている。

出場者募集について、両市広報誌9月号に掲載される予定。

子どもの代表として、子どもフォーラム運営委員の中から参加してもらおう。

エンディングセレモニーは、今のところ考えていない。

600人収容可能な会場だが、本当に集まるのか疑問があるため、アトラクションを入れるべきかという意見もある。

(意見)

関係者のみの打ち上げでも、セレモニーでも、50年事業の締めくくりとして何か必要ではないか。

広報・情報発信部会

パンフレット

(報告)

8ページもののパンフレット作成を考えている。

イベントの詳細情報や協賛企業の広告などを掲載する。

その他

記念品

(意見)

後に残るものがないのではないかな。

ボランティアスタッフのお礼としても必要ではないかな。

記念冊子

(意見)

地図は作成するのか。

9月15日までに作成できるのか。

9月15日に間に合わせようとする、入稿まで2週間程度しかない。

45周年で作成した地図の改定で考えると、表紙の一部を変えなければならない。

参加者などへ配布できればいい。

(まとめ)

8ページのパンフレットとは別で作成する。

地図は50年以降も使用できるものとする。